

パロキセチン錠「DSEP」 を服用される 患者さんとお家族の方へ



第一三共エスファ株式会社

パロキセチン錠「DSEP」 を服用される患者さんとご家族の方へ

このお薬は、脳内の神経伝達物質であるセロトニン濃度を上昇させ、憂うつな気分をやわらげ、不安などの症状を改善します。

パロキセチン錠5mg「DSEP」



パロキセチン錠10mg「DSEP」



パロキセチン錠20mg「DSEP」



*錠剤は実物大です。

パロキセチン錠「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことのある方
- 躁うつ病の方
- 自殺念慮または自殺企図の既往のある方、自殺念慮のある方
- 脳の器質的障害のある方
- 統合失調症の素因のある方
- 衝動性が高い併存障害のある方
- てんかんの既往歴のある方
- 緑内障の方
- 出血傾向・出血性素因のある方
- 妊婦、妊娠している可能性がある、または授乳中である方
- 他のお薬を服用している方



(裏面も必ずお読みください)

服用方法について

- このお薬は1日1回夕食後服用します。
- あなたの症状に合わせて、服用量、服用方法が調整されます。

	パロキセチンとしての服用	開始時の服用量/1回	1週ごとの増量	1日の最大服用量
うつ病・うつ状態	20～40mg	10～20mg	10mg/日ずつ増量	40mgを超えない範囲
パニック障害	30mg	10mg		30mgを超えない範囲
強迫性障害	40mg	20mg		50mgを超えない範囲
社会不安障害	20mg	10mg		40mgを超えない範囲
外傷後ストレス障害	20mg	10～20mg		40mgを超えない範囲

- 必ず指示された服用量、服用方法に従ってください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして次の服用時間に1回分を飲んでください。
- 2回分を一度に飲まないでください。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのをやめないでください。突然服用をやめたり、薬の量を減らすと、めまい、吐き気、発汗などの我慢できない症状があらわれることがあるので、絶対に避けてください。

服用中に注意していただきたいこと

次のような症状がみられましたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

吐き気、便秘、食欲不振、口渇、眠気、めまい、頭痛などの症状があらわれることがあります。

まれに次のような症状があらわれる可能性があります。このような場合は、使用をやめてすぐに医師の診療を受けてください。

- 不安、興奮、手足の震え【セロトニン症候群】
- 筋肉のこばり、発汗、急激な発熱【悪性症候群】
- 考えがまとまらない、存在しないものが見える、意識がうすれる【錯乱、幻覚、せん妄、けいれん】
- 全身倦怠感、意識の低下、けいれん【抗利尿ホルモン不適合分泌症候群】
- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる【肝機能障害】

上記以外にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

日常生活で注意していただきたいこと

- 眠気、めまいなどがあらわれることがありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う時は、注意してください。
- アルコールによって薬の作用が強くあらわれることがありますので、服用中の飲酒は控えてください。
- 健康食品であるセイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品は、セロトニン作用を強める可能性があるため、摂取は控えてください。
- 授乳中の方は、この薬を使用している間は授乳を避けてください。

連絡先(医療機関名)



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

EPPARIP00601-1

2022年12月作成

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
第一三共エスファ株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1



販売提携
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPPAR1P00601-1
2022年12月作成